

今回のテーマは、『ゲーム・ボール運動:ゴール型(サッカー)』についてです。

サッカーは、ボールを手以外の部分で扱うため、非日常的な動作が多く求められます。そのため、体育でサッカーをすると、サッカーが得意な児童だけが活躍し、ボールを思うように扱えず楽しめない児童は、お客さん状態になってしまうことよくありますよね。

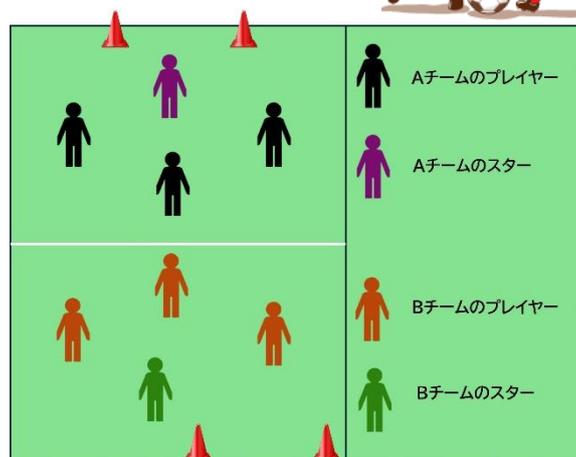
そこで今回は、サッカーが得意、不得意に関係なく楽しめる『グリッドサッカー』を紹介します。

グリッドサッカーって?



【ルール】

- ① コーンに当てたら3点、コーンの間を通したら1点。
- ② コーンの場所は、チームで自由に決めて置く。
ただし、コーンの間は3m以上開ける。
- ③ 各チームのスターは、相手からボールを奪われない。
その代わりにセンターラインを越えることができない。
- ④ 得点を決めた人は、スターと交代をする。
- ⑤ スター以外の全員がセンターラインを越え、相手陣地に入っていないと得点にはならない。



【ルールのメリット】

③について

各チームに1人だけビブスをきた『スター』を設けることで、常に落ち着いてゲームメイクできるようになる。また、自陣に必ず残るため、ディフェンダーとしての役割を担うことができる。

④について

得点を決めたプレイヤーは、コート外に出て、スターからビブスを受け取り、スター役を交代する。こうすることで、失点後のリスタートを早くすれば数的有利な状況を作ることができ、得点チャンスが生まれる。

⑤について

全員で攻める意識をもつことができる。加えて攻守が入れ替わった時は、素早く自陣に戻ってこなければならないため、運動量確保にもつながる。また、全員参加型の授業になるので、お客さん状態にならなくなる。

ドーナツパス練習法



ルール

- ・ 中心のエリアから外側のエリアにいる人にパスをする。
- ・ 守りのチーム (中間) はパスをカットします。
- ・ 外側の味方が足でしっかりボールを止められたら2点 (パス成功)、ボールに触れたら1点。

狙い

- ・ 敵がない場所を見つける、味方との連携 (声かけ)、パスの精度、シュート技術の向上につながります。